



平成26年度を迎えるにあたって

公益社団法人全国和牛登録協会 会長 向井文雄

平成26年の幕開けから早いもので3ヵ月が過ぎ、新年度を迎えようとしております。畜産物相場は昨年後半からわずかながら回復しておりますが、一方で、TPPを巡っての交渉が継続されており、農業や畜産への影響が心配され、先行きの不安感がぬぐえません。その影響もあってか子牛市場価格の高値にもかかわらず登録頭数の減少傾向には歯止めがかからない状況が続いています。国は久方ぶりに増頭対策事業を予算化しておりますが、生産現場で利用しやすく、生産意欲の向上に繋がるような事業展開をお願いしたいものです。

ご承知のように、世界的に膨張を続ける人口を養い、経済発展に伴う農畜産物の需要増をまかなうために農業の役割が極めて重くなってきています。現代農業は長年の経験とさまざまな科学技術がうまく噛み合った先進的な産業と言えます。事実、世界の先進国はいずれも食料輸出国となっており、わが国も足腰の強い攻めの農業への脱皮が求められています。わが国の農畜産物の品質の高さは国際的にも広く認められているところであり、海外に販路を開拓して高品質な農畜産物の輸出戦略が練られております。昨年12月に、日本の伝統的な食文化である和食が世界無形文化遺産に登録されたことも輸出の追い風になることが期待され、和牛肉はその中でも見た目の魅力と美味しさで重要な輸出品目として位置づけられています。昨年は牛肉の輸出額がはじめて50億円を超えましたが、東京オリンピックが開催される2020年までに250億円を目指すとされております。

国内での消費拡大はもちろんですが、世界に踏み出すには生産基盤を強化して和牛の魅力、すなわち「和牛力」を高めなければなりません。そのためには第10回長崎全共で掲げた「和牛維新」

の達成が必須となります。生産性の向上を目指して繁殖能力の改良と飼養管理の改善に取り組み、脂肪の質など脂肪交雑以外のおいしさ・風味と関連する要因に着目することによって、「生産履歴が明らかな正真正銘の美味しい和牛肉」のもとになる子牛を毎年1頭生産し、すくすく育てる母牛集団をつくりあげていくことが重要であり、和牛生産経営の安定化につながると考えています。第11回全共宮城大会の最終比較審査会場も決まり、開催テーマは「高めよう生産力 伝えよう和牛力 明日へつなぐ和牛生産」に決定いたしました。和牛維新の完成を目指す全共と位置づけ、関係者が一丸となって取り組んでいただくことを期待しております。

さて、ご承知のとおり、4月から消費税が5%から8%に改定されます。現在の登記・登録料金は内税となっており、消費税の性格上、それぞれの登記・登録料に平等に転嫁させていただくことが、会員の皆さんにとって税を公平に負担いただくことにつながるものと考え、登記・登録料に消費税増税分を転嫁させていただきます。なお、この際、端数の取扱いの問題が出てきます。円単位の細かい金額での料金納入は業務上煩雑となることもあり、100円未満の端数は切り上げさせていただきます。新しい年度を前に、会員の皆さんには非常に心苦しいお願いをすることになりますが、ご理解の程お願い申し上げます。現在、協会では登録事業の信頼性を高めかつ中長期的に安定して登録事業を推進できるように、平成27年度を目途に組織問題等を含めて鋭意検討いただいているところであり、今後も「信用は登録の命なり」を基本理念とした登録事業に向けて努力する所存でありますので、ご協力をお願いいたします。

第11回全国和牛能力共進会の開催について

開催テーマ：高^{たか}めよう生産力 伝^{つた}えよう和牛力 明^{あした}日へつなぐ和牛生産^{わぎゅうせいさん}

平成29年度に宮城県で開催されます第11回全国和牛能力共進会の最終比較審査の会期と会場、開催テーマが決定しましたので、お知らせします。

最終比較審査の会期は、平成29年9月7日から11日までの5日間、会場は、宮城県仙台市の「夢メッセみやぎ」（種牛の部）と「仙台市中央卸売市場食肉市場」（肉牛の部）に決定しました。「夢メッセみやぎ」については、東北地方最大の国際貿易港である仙台塩釜港の仙台港区にある既存の大型施設であり、仙台東部道路・三陸自動車道のインターチェンジにも近接するなど、海・陸の両面におけるアクセス性の高さが特徴的です。また、東北で最大の広さを誇る7,500㎡の屋内展示場に審査会場が設置される予定であり、天候の影響を受けにくいことも魅力のひとつです。

開催テーマ「高めよう生産力 伝えよう和牛力 明日へつなぐ和牛生産」は、全国の和牛改良組合、和牛生産者、関係者の方々からいただいた応募作品を組み合わせ決定をしました。「高めよう生産力」は、効率的な和牛生産に向け、繁殖能力や飼料効率の改良に和牛界全体で取り組んでいこうという目標を表しています。「伝えよう和牛力」には、消費者への和牛肉の美味しさのアピー

ルはもちろん、地域振興に果たす和牛の役割や牛飼いの魅力などの「和牛力」を広く伝えていく大会にしていきたいという思いを込めました。また、次の世代へ改良成果を引き継ぐために、地域の組織づくり、人づくりに向けた取り組みを一層推進しながら、生産基盤の拡充を図り、日本農業と食文化の牽引役として前進していこうという姿勢を「明日へつなぐ和牛生産」に示しました。

平成29年の最終比較審査に向け、このテーマのもとに様々な取り組みの展開・充実を図りたいと考えますので、皆様の御理解、御協力をお願いいたします。大会のねらいや出品区の概要、出品条件の詳細については、随時、会誌「和牛」や協会のホームページ等でお知らせしていきますので、よろしく願いいたします。

〈最終比較審査〉

会期：平成29年9月7日（木）から

平成29年9月11日（月）

会場：種牛の部 宮城県仙台市
夢メッセみやぎ

肉牛の部 宮城県仙台市

仙台市中央卸売市場食肉市場

登記・登録料金の改定について

平成26年4月からの消費税率の引き上げに伴い、子牛登記、基本本原登録、高等登録をはじめとする諸証明料金、検定・調査料金を平成26年4月1日から改定いたします。なお、各料金については内税とし、100円単位での端数処理を行わせていただいております。

また、平成27年に予定されております消費税率の引き上げへの対応については、現在、登録料金のあり方を含めた登録料金の抜本的な改正に向けた検討を進めているところであり、そのなかで対応方針を決定していくこととしています。

会員の皆様には御負担をお願いすることとなりますが、今後とも、和牛登録事業の円滑な実施並びに和牛の改良増殖に努めて参りますので、御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

〔平成26年度からの登記・登録料金〕

子牛登記	登記料	2,300円
	再交付料	1,100円
	書換料	1,100円
基本・本原登録	登録料（雄）	14,900円
	登録料（雌）	6,900円
	移動証明料	1,600円
	再交付料	3,100円
	書換料	1,600円
高等登録	登録料（雄）	17,500円
	登録料（雌）	8,300円
	移動証明料	2,100円
	再交付料	5,200円
	書換料	2,100円